

決算特別委員会

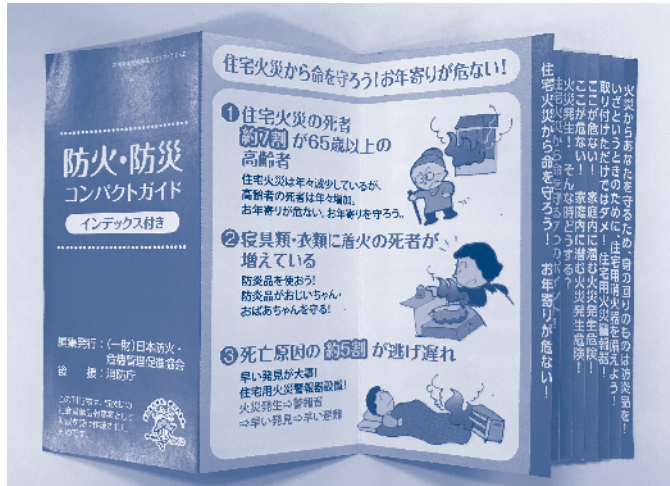
19日の本会議では、2つの決算特別委員会の委員長が審査の経過と結果を報告しました。その内容の一部を掲載します。

一般・特別会計決算特別委員会

平成28年度富山市一般会計歳入歳出決算、平成28年度富山市公債管理特別会計歳入歳出決算など16件については、いずれも「認定」した。

★防火の手引き

委員 防火・防災に関する全てのことを網羅したパンフレットであり、消防総合訓練の講評の際に配布するなど、より効果的な周知に努められたい。



消防局で配布しているパンフレット

★スクールソーシャルワーカー

委員 複雑な事情を抱える家庭が増えている中で、家庭を訪問したり、警察や児童相談所などの関係機関と連携を図るなど、児童・生徒や家庭、学校を支援しており、必要に応じて増員や環境改善をお願いしたい。

★24時間子育て相談電話対応事業

委員 子育て家庭に対する育児相談の充実を図るため、面接相談や24時間対応の電話相談を行っているが、誰にも相談できないときの電話相談は大変重要であり、相談内容は幅広いと思うが、質の高い回答をされるよう努められたい。

★富山デザインフェア

委員 国内トップデザイナーをセミナーの講師に迎えるなど、デザインの分野を志す人にとっては成果があったとのことだが、一般市民にもデザインの魅力をより広く伝えられるよう努められたい。



富山デザインフェア2017の様子

★多面的機能支払交付金事業

委員 活動した人の日当なども支払われることや、周辺の環境も良くなるという非常に良い事業であるが、実施率があまり高くないように思うので、丁寧な説明を行い、事業の実施率が上がるよう努められたい。

★平成28年度富山市一般会計歳入歳出決算

反対討論 税金の使い方について、コンパクトシティ政策で、中心部への偏重が際立っているが、市街地再開発事業の中で、開業後に早々と店舗が撤退したり、今も空き店舗が埋まらない等、効果に疑問があり、市民の理解が得られるとは思えない。このように、市の考えを住民に押し付けるのではなく、地域住民主体の市政へと転換するべきである。

賛成討論 まちなか再生推進事業の重点政策の1つである市街地再開発事業費補助金は、まちなかに新たにぎわいを創出し、中心市街地の活性化を図る狙いがある。この政策の効果もあって歩行者通行量が年々増加しており、近年、県外からの転入者も増加していることから、「にぎわいと交流の都市空間の整備・充実」の実現に向けて重要な役割を担っている。

結果 認定することに決した。

企業会計決算特別委員会

平成28年度富山市水道事業会計決算、平成28年度富山市水道事業会計未処分利益剰余金の処分の件など7件については、いずれも「認定」、原案のとおり「可決」した。

★病院事業会計

委員 28年度における医師初期臨床研修（基幹型）のマッチングに関して、募集定員6名に対して、応募が1名と定員に満たなかった原因として、立地や救急・手術件数の多さなど、市民病院の魅力について研修医に十分に伝わらなかったことや医局の老朽化の影響があったのではないかとのことであるが、研修医からも選ばれるような病院になることが、市民の医療に資することだと考えるので、今後、改善に努められたい。

★水道事業会計、工業用水道事業会計、公共下水道事業会計

委員 消化ガスや汚水の熱エネルギーといった未利用エネルギーについて、28年度も将来の発電開始や冷暖房への有効活用などに鋭意取り組まれたことは、喜ばしいことであり、今後も環境未来都市として素晴らしい成果が上がるよう、着実に事業を進められたい。



上下水道局で販売している「とやまの水」